

～一般就労を目指した取組と卒業後の支援～

基礎体力を付けるための体力づくり、基礎的な働く態度を身に付けることを目標とした作業学習、日々の徹底した挨拶の充実など、1年生から3年間かけて社会人として必要な能力を身に付ける学習に取り組んでいます。

1年次

- ・作業学習、進路学習「職業」、教科学習を通して、社会人として必要な知識・技能・態度を身に付ける。
- ・現場実習(一般企業における体験実習、5日間)

2年次

- ・一定の労働量を経験、職場の人との関わりを通し、仕事に対し意欲的に取り組む気持ちを育てる。
- ・卒業後の自分の適正進路を判断する。
- ・前期現場実習(一般企業における体験実習、5日間)
- ・後期現場実習(一般企業、福祉サービス事業所における実習、10日間)

3年次

- 4週間の現場実習(卒業後の就労を前提とした実習)
- ・雇用の可否を判断していただく。
- ・本人の障がいの特性や働く姿勢を理解していただく。

就労後

「卒後支援」

- ・卒業後3年間行います。
- ・年2～3回の定期的な巡回や年4回の文書による支援、年5回の余暇活動支援など様々な支援を行っています。
- ・特別巡回を行い、卒後3年以降でも、本人・職場からの要請があればいつでも相談に対応します。

就職率より、定着率を重視した支援を行っています。

☆ 卒業後の進路

- ◎ 一般就労…労働基準法及び最低賃金法に基づく雇用関係による企業への就労。
《近年では4～6割の生徒が一般就労する》
- ◎ 福祉的就労…一般就労が困難な障がい者のために配慮された環境（福祉サービス事業所）への就労。
- ◎ 職業訓練校への進学

☆ 職業学科としての目標

希望の就労 100%（卒後3年めど）
就労の継続 100%（卒後3年間）



希望の職場・職種を自己選択・自己決定できる進路指導や、意図的・計画的な学習指導等を進めることで、希望の就労 100%に近づけることができ、卒業3年後の就労継続100%につながると考えます。

☆ 進路指導（キャリア教育）の充実

本校のグランドデザイン「進路指導（キャリア教育）の充実」に掲げる、就労継続・希望の就労に向け、職業学習（就労に生かすカリキュラム）の充実を図り、希望の職場、職種の見学、体験の充実等の職業の経験・体験を重視し、知識を増やし、自己選択の幅を広げることを目標として取り組んでいます。

現場実習等以外にも外部講師による「模擬面接」「企業説明会」「企業講話」、希望する生徒には「長期休業中における短期インターンシップ」などの学習を行っています。

